



一般社団法人 日本顕微鏡歯科学会

第20回学術大会・総会 ランチタイムセミナー

大会長：寺内吉継

実行委員長：表茂稔

デジタルワークフローチャレンジ： ベニア修復におけるトゥースプレパレーションとデザインの考え方

大河 雅之

代官山アドレス歯科クリニック

キーワード：低侵襲、デジタルデンティストリー、マイクロプレジジョン

デジタル技術と接着歯科学が発展した現代の修復歯科学において、近い将来、この分野はデジタルデンティストリーと組み合わせた MI 審美修復に主眼が置かれることは容易に推測できる。また、マイクロスコープを使用することで、従来の歯科治療においてもデジタル歯科治療においても、より精密で予知性の高い治療結果を得ることができるようになった。

デジタルデンティストリーを適応させた低侵襲歯科治療の将来的な展望は、ベニア修復におけるトゥースプレパレーションとデザインの考え方において、以下のような臨床的議論が必要であろう。

1. STL データにおける支台歯辺縁におけるエッジロスを回避するために適したマージナルフィニッシングラインの形態と位置は？
2. デジタル技術を使用して、歯とベニア修復物の内部界面の精密なフィッティングをどのように管理するか？
3. 歯の隣接面間距離が十分に広くない場合、IOS は正確にスキャンできない。発表者は、コンタクトが閉じた歯列弓に IOS を適用する場合のガイドラインを提案したい。また、コンタクトが開いている場合、IOS を適用するために必要な隣接間スペースの最小距離について考察する。

以上のことを、発表者の臨床例や自身の研究を通して解説したい。また、実際に歯科用顕微鏡（カールツァイスメディテック社製：手術顕微鏡 EXTARO 300）を使用してベニアのトゥースプレパレーションのデモンストレーションを行う。

≡ 略歴

- 1987年 東北歯科大学卒業
2001年 代官山アドレス歯科クリニック開院
2019年 日本歯科大学生命歯学部補綴Ⅱ講座 非常勤講師

≡ 所属

- 日本臨床歯科学会 理事長幹事 ・ 東京支部 支部長
日本臨床歯科学会 雑誌編集委員会 委員長
日本臨床歯科学会 国際渉外委員会 委員長
日本臨床歯科学会 フェロー
EAED(ヨーロッパ審美歯科学会) 会員
AMED(米国マイクロスコープ歯科学会) 前理事
日本歯科審美学会 認定医
日本顎咬合学会 認定医
日本補綴歯科学会 会員
イボクラ社 オピニオンリーダー